

3. 事業報告書

事業報告書
令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係
(引 受)

年産	共済目的等		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和3年産	水稲	一筆方式	人 23,265	a 1,689,984.0	円 10,628,139,047	円 12,066,042	円	円
		半相殺方式	319	31,243.4	223,432,250	467,347		
		全相殺方式	24	2,203.8	18,616,780	43,185		
		品質方式	30	2,846.7	25,582,345	83,947		
		地域インデックス方式	70	6,919.4	61,877,312	36,322		
		計	23,708	1,733,197.3	10,957,647,734	12,696,843	11,296,099	23,992,942
	麦	一筆方式	72	33,753.9	96,724,575	1,594,332		
		半相殺方式	3	577.9	1,388,386	10,025		
		災害収入共済方式	33	149,345.2	679,222,275	20,620,249		
		地域インデックス方式	1	57.9	246,132	52		
		計	109	183,734.9	777,581,368	22,224,658	14,664,755	36,889,413
	合計		延 23,817	1,916,932.2	11,735,229,102	34,921,501	25,960,854	60,882,355
			実 23,278					
令和4年産	麦	半相殺方式	46	15,626.2	54,312,532	687,980		
		災害収入共済方式	29	138,112.7	688,449,587	13,066,299		
		計	75	153,738.9	742,762,119	13,754,279	2,377,212	16,131,491

(参 考)

共済目的	事 項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
水稲	前年度対比 (%)	103.5	100.5	102.9	61.3	62.4	61.8
	事業計画対比 (%)		89.5	82.6	59.5	66.8	62.7
麦 (令和4年産)	前年度対比 (%)	68.8	83.7	95.5	61.9	16.2	43.7
	事業計画対比 (%)		78.8	75.2	67.0	113.6	71.3

引受の概況

【水稲】 任意加入制以降3年目となった本年も加入推進に全支所で取り組み、引受実戸数が23,176戸となり、引受面積は1,733,197.3aで前年対比100.5% (9,324.8a増) と増加した。

【麦】 (令和4年産)
引受実戸数は74戸で、前年対比28戸減少し、引受面積は153,738.9aで前年対比29,996aの減少であった。

(被 害)

年産	共済目的等		被害組員数	共済金	共済金 共済金額
令和3年産	水稲	一筆方式	人 847	円 67,070,775	% 0.63
		半相殺方式	13	1,150,367	0.51
		全相殺方式	2	33,003	0.18
		品質方式	4	1,725,217	6.74
		地域インデックス方式	1	5,790	0.01
		計	延 867	69,985,152	0.64
	麦	一筆方式	12	526,291	0.54
		半相殺方式	0	0	－
		災害収入共済方式	4	4,065,333	0.60
		地域インデックス方式	0	0	－
		計	延 16	4,591,624	0.59
	合計		883	74,576,776	0.64

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
水稲	前年度対比 (%)	34.6	36.3
	1組員当たり (円)		80,721

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
麦	前年度対比 (%)	145.5	120.5
	1組員当たり (円)		286,977

被害の概況

- 【水稲】 前年に引き続き、長期にわたる梅雨や8月中旬以降の継続的な降雨により高温多湿条件下となり、いもち病が発生した。さらに、山間部を中心にイノシシによる踏み荒らし、県南部の移植田におけるスクミリングガイによる被害が発生した。
- 【麦】 有効分げつ決定期前である1月下旬に断続的な降雨があったことにより、土壌の過湿状態が続き、生育不良による減収が発生した。また、災害収入共済方式において、4月末の強風・降雨による倒伏及び5月中旬の断続的な降雨による倒伏を原因として、登熟が遅れたことにより減収並びに品質の低下が発生した。

(支 払)

年産	共済目的等		支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
令和3年産	水稲	一筆方式	12月 23日	円 67,070,775	円 0	円 /	円 /	円 /	円 /	% /
		半相殺方式	12月 23日	1,150,367	0					
		全相殺方式	2月 21日	33,003	0					
		品質方式	2月 21日	1,725,217	906,788					
		地域インデックス方式	2月 21日	5,790	0					
		計		69,985,152	906,788	23,992,942	45,085,422	0	0	100.0
	麦	一筆方式	8月 25日	526,291	0	円 /	円 /	円 /	円 /	円 /
		災害収入共済方式	11月 24日	4,065,333	0					
		計		4,591,624	0					
		合計		74,576,776	906,788	28,584,566	45,085,422	0	0	100.0

(損害防止)

水稲共済加入者を対象に、有害獣対策用捕獲檻の貸出、イノシシ等侵入防止施設設置資材助成、病害虫防除用薬剤購入助成を実施した。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分		有資格 頭 数	事業計画 頭 数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴 収 共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
死亡 廃用 共済	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円	円
	搾 乳 牛	16,102	15,656	15,839	101.2	5,104,154	157,181,317			
	繁 殖 用 雌 牛	10,975	5,654	5,711	101.0	1,749,152	17,159,725			
	育 成 乳 牛 (子 牛 等)	8,142	7,736	7,148	92.4	1,703,367	14,009,020			
			(1,319)	(1,254)						
	育 成 ・ 肥 育 牛 (子 牛 等)	37,866	27,055	30,764	113.7	7,461,998	74,734,393			
			(5,095)	(5,812)						
	育 成 ・ 肥 育 馬	1	1	0	0.0	0	0			
	種 豚	4,025	0	0	0.0	0	0			
疾病 傷害 共済	肉 豚	30,655	0	0	0.0	0	0			
	肉 用 種 種 雄 牛	0	0	1	∞	602	12,253			
	計	107,766	56,102	59,463	106.0	16,019,273	263,096,708			
	乳 用 牛	16,065	15,453	15,640	101.2	448,876	123,725,171			
	肉 用 牛	33,652	19,685	20,971	106.5	225,038	45,810,418			
	一 般 馬	1	1	0	0.0	0	0			
	種 豚	4,025	0	0	0.0	0	0			
	肉 用 種 種 雄 牛	0	0	1	∞	44	1,688			
	計	53,743	35,139	36,612	104.2	673,958	169,537,277			
合計		161,509	91,241	96,075	105.3	16,693,231	432,633,985	0	432,401,115	865,035,100

() 内は、子牛等で内数
引受実績は期首引受のみ

引受の概況

- ア 死亡廃用共済の引受農家数は、延1,154戸（搾乳牛184戸、繁殖用雌牛319戸、育成乳牛181戸、育成・肥育牛469戸、肉用種種雄牛1戸）で、前年比31戸（搾乳牛9戸、繁殖用雌牛6戸、育成乳牛4戸、育成・肥育牛11戸、育成・肥育馬1戸）減少し、肉用種種雄牛が1戸増加した。
- 疾病傷害共済の引受農家数は、延674戸（乳用牛198戸、肉用牛475戸、肉用種種雄牛1戸）で、前年比31戸（乳用牛8戸、肉用牛22戸）減少、肉用種種雄牛が1戸増加した。
- イ 死亡廃用共済の引受頭数は、59,463頭で、前年比1,261頭増加した。疾病傷害共済の引受頭数は、36,612頭で、前年比641頭増加した。
- ウ 死亡廃用共済の共済金額は、16,019,273千円で、前年比619,574千円減少した。疾病傷害共済の共済金額は、673,958千円で、23,725千円増加した。

(事 故)

区分 \ 項目	死亡廃用共済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
	頭	頭	頭	円
搾 乳 牛	757	817	1,574	457,199,704
繁 殖 用 雌 牛	44	55	99	23,182,863
育 成 乳 牛 (子 牛 等)	341 (295)	16	357	29,460,557
育 成 ・ 肥 育 牛 (子 牛 等)	1,470 (1,269)	59	1,529	250,970,873
育 成 ・ 肥 育 馬	1	0	1	199,200
肉 用 種 種 雄 牛	0	0	0	0
計	2,613	947	3,560	761,013,197

()内は、子牛等で内数

死亡廃用事故は期末調整を除く

事故発生の概況

ア 死亡廃用共済

死亡廃用事故頭数は3,560頭（搾乳牛1,574頭、繁殖用雌牛99頭、育成乳牛357頭、育成・肥育牛1,529頭、育成・肥育馬1頭）で、前年比209頭増加した。

支払共済金は761,013,197円で、前年比19,502,883円増加した。

イ 疾病傷害共済

病傷事故件数は43,131件（乳用牛27,815件、肉用牛15,315件、肉用種雄牛1件）で、前年比3,519件増加した。

支払共済金は521,980,087円で、前年比47,133,296円増加した。

区分 \ 項目	疾病傷害共済	
	件 数	支払共済金
	件	円
乳 用 牛	27,815	364,403,669
肉 用 牛	15,315	157,566,590
一 般 馬	0	0
肉用種種雄牛	1	9,828
計	43,131	521,980,087

(損害防止)

実 施 種 目		対象頭数 又は戸数		経 費 概 算	摘 要
特定損害防止		頭 5, 515		円 17, 632, 350	実施期間 令和3年6月～令和4年2月 重点事項 繁殖障害・周産期疾患・乳房炎・運動器疾患・呼吸器疾患
一 般 損 害 防 止	代謝プロファイル テスト (健康検査)	乳 牛	176 頭	4, 660, 483	重点事項 血液生化学的検査 血液理学的検査 飼養管理改善指導
		肉 牛	0 頭		
	繁 殖 管 理 (繁殖検診)	乳 牛	127 頭	585, 230	重点事項 繁殖成績改善 繁殖障害防除
		肉 牛	20 頭		
	乳質改善	乳 牛	0 頭	0	重点事項 乳房管理（体細胞数の改善） 搾乳手技改善指導 乳汁細菌感受性検査
		肉 牛	0 頭		
	その他の 農家指導	乳 牛	0 頭	0	重点事項 バーンミーティング等 （牛舎内での飼養管理の検討等）
		肉 牛	0 頭		
	ワクチネーション	乳 牛	6, 497 頭	375, 600	重点事項 乳牛・肉用牛の異常産予防 肉用牛の呼吸器疾患予防
		肉 牛	9, 490 頭		
	予防衛生措置	乳 牛	245 戸	3, 346, 629	重点事項 第1胃疾患の予防、子牛の下痢予防 消化器疾患の予防、繁殖障害の予防 運動器疾患の予防、尿石症の予防 低カルシウム血症の予防等
		肉 牛	329 戸		
計				8, 967, 942	
合計				26, 600, 292	

(診 療 所)

診 療 所 名	職 員 数	管 内		診 療 件 数		損 害 防 止 事 業			摘 要
		有資格 頭 数	加入頭数	共済事故	事故外	一 般	特 損	経費概算	
	人	頭	頭	件	件	頭	頭	円	
生 産 獣 医 療	7	1,888	1,910	1,282	657	1,557	724	2,533,457	
南 部	2	9,040	1,215	1,393	908	1,074	589	1,863,449	
西 部 基 幹	6	12,415	9,934	2,914	1,280	2,202	711	4,282,939	
西 部	4	9,760	5,363	1,879	900	2,133	372	3,168,298	
蒜 山	5	3,841	3,782	3,681	1,710	2,054	672	2,727,420	
北 部 基 幹	13	16,799	14,408	7,504	2,878	7,290	2,447	8,678,100	
合 計	37	53,743	36,612	18,653	8,333	16,310	5,515	23,253,663	

前 年 度 実 績	35	71,274	35,971	17,413	6,484	18,569	4,662	26,257,896	
増 減	2	△ 17,531	641	1,240	1,849	△ 2,259	853	△ 3,004,233	

1. 有資格頭数、加入頭数に肉豚及び胎児は含まない。
2. 損害防止実施頭数は延頭数
3. 職員数は令和4年3月31日現在

(3) 果樹共済関係
(引 受)

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和2年度 (令和3年産)	ぶどう		人	a	円	円	円	円
		半相殺減収総合一般方式	162	2,758.1	252,430,000	1,259,093	918,886	
		半相殺減収総合短縮方式	31	667.2	61,601,000	291,404	195,023	
		災害収入共済方式	89	2,265.9	172,723,000	868,447	448,649	
		樹園地減収総合一般方式	14	260.9	19,849,000	64,492	55,746	
		樹園地減収総合短縮方式	3	126.5	11,504,000	39,615	36,941	
		計	299	6,078.6	518,107,000	2,523,051	1,655,245	4,178,296
	もも	半相殺減収総合一般方式	5	160.7	9,992,000	186,862	109,263	
		半相殺減収総合短縮方式	26	589.4	28,632,000	335,535	223,287	
		災害収入共済方式	3	92.5	2,674,000	59,846	△ 21,617	
		樹園地減収総合短縮方式	6	282.7	10,455,000	91,373	72,545	
		計	40	1,125.3	51,753,000	673,616	383,478	1,057,094
	合計		339	7,203.9	569,860,000	3,196,667	2,038,723	5,235,390
令和3年度 (令和4年産)	ぶどう	半相殺減収総合一般方式	155	2,512.2	228,878,000	1,114,428	803,058	
		半相殺減収総合短縮方式	28	632.8	70,180,000	386,091	381,216	
		災害収入共済方式	71	1,778.3	134,891,000	795,804	411,403	
		計	254	4,923.3	433,949,000	2,296,323	1,595,677	3,892,000
	もも	半相殺減収総合一般方式	7	209.9	14,056,000	276,888	155,208	
		半相殺減収総合短縮方式	27	610.6	36,520,000	412,228	379,470	
		災害収入共済方式	2	47.5	1,277,000	28,855	△ 10,417	
		計	36	868.0	51,853,000	717,971	524,261	1,242,232
	合計		290	5,791.3	485,802,000	3,014,294	2,119,938	5,134,232

引受の概況 (令和4年産)

引受戸数はぶどうで254戸、前年対比で85.0% (45戸減)、ももで36戸、前年対比90.0% (4戸減)、引受面積はぶどうで4,923.3a、前年対比81.0% (1,155.3a減)、ももで868.0a、前年対比77.1% (257.3a減) であった。

(被 害)					
年産	果樹区分		被 組 合 員 害 数	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
令和 3年産	ぶ ど う		人	円	%
		半相殺減収総合一般方式	8	2,827,582	1.1
		半相殺減収総合短縮方式	0	0	0.0
		災害収入共済方式	0	0	0.0
		樹園地減収総合一般方式	2	165,180	0.8
		樹園地減収総合短縮方式	0	0	0.0
		計	10	2,992,762	0.6
	も も	半相殺減収総合一般方式	3	1,302,460	13.0
		半相殺減収総合短縮方式	0	0	0.0
		災害収入共済方式	0	0	0.0
		樹園地減収総合短縮方式	3	1,200,520	11.5
		計	6	2,502,980	4.8
	合計		16	5,495,742	1.0

被害の概況

(ぶどう)

6月中旬の降雨と開花が重なった地域で花ぶるいが発生し、着果数の減少や房形が悪いなどの被害が発生した。また、平年より1か月近く早い梅雨入りを迎えたが、7月13日の梅雨明け後、7月中下旬は一転して多日照となり、縮果症・日射症の発生が見られた。収穫前の長雨により裂果や腐れが発生し、さらに裂果を起因とした灰色かび病が併発した房も多数見られた、イノシシ・サル・テンによる獣害も発生した。

(もも)

1月中旬から平均気温が高く推移したことで開花が平年より10日程度早まり、4月上旬の降霜および低温によって県南の広い範囲で結実不良が発生した（凍霜害）。4月中旬から5月中旬の低温により生育が停滞していたが、梅雨入り後に果実が急肥大し、核割れや生理落下につながった。また、収穫前の7月上中旬の多雨により、果梗離脱果や裂果・腐れ等が多発した。カラスによる鳥害、サルやイノシシによる獣害も発生した。

令和2年産実績 参考

		被害組合員数	共済金	保険金
ぶ ど う		人	円	円
	半相殺減収総合一般方式	8	2,110,020	
	半相殺減収総合短縮方式	0	0	
	災害収入共済方式	6	1,170,236	
	樹園地減収総合一般方式	1	98,260	
	樹園地減収総合短縮方式	0	0	
	計	15	3,378,516	0
も も	半相殺減収総合一般方式	1	458,040	
	半相殺減収総合短縮方式	0	0	
	災害収入共済方式	0	0	
	樹園地減収総合短縮方式	0	0	
	計	1	458,040	0

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
ぶ ど う	前年度対比(%)	66.7	88.6
	1組合員当たり(円)		299,276

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
も も	前年度対比(%)	600.0	546.5
	1組合員当たり(円)		417,163

(支 払)

果樹区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
ぶどう	半相殺減収総合 一般方式	12月21日	円 2, 827, 582	円 340, 649	円 2, 177, 979	円 308, 954	円 0	円 0	% 100.0
	半相殺減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	災害収入 共済方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	樹園地減収総合 一般方式	12月21日	165, 180	5, 850	120, 238	39, 092	0	0	100.0
	樹園地減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	計		2, 992, 762	346, 499	2, 298, 217	348, 046	0	0	100.0
も も	半相殺減収総合 一般方式	12月21日	1, 302, 460	602, 597	296, 125	403, 738	0	0	100.0
	半相殺減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	災害収入 共済方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	樹園地減収総合 短縮方式	12月21日	1, 200, 520	562, 980	163, 918	187, 387	281, 704	4, 531	100.0
	計		2, 502, 980	1, 165, 577	460, 043	591, 125	281, 704	4, 531	100.0
合 計			5, 495, 742	1, 512, 076	2, 758, 260	939, 171	281, 704	4, 531	100.0

(4) 畑作物共済関係
(引 受)

項目 畑作物区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済 掛金（A）	交付金又は 納入保険料（B）	手持共済掛金 （A） ± （B）
大豆 半相殺・一筆方式	人 523	a 16,949.3	円 105,921,645	円 6,448,678	円	円
大豆 全相殺方式	16	1,731.0	7,441,632	266,573		
計	延 539	18,680.3	113,363,277	6,715,251		
	実 517					
秋植えばれいしょ 全相殺方式	実 7	118.5	1,827,897	91,846		
計	実 7	118.5	1,827,897	91,846		
合 計	延 546	18,798.8	115,191,174	6,807,097	4,222,699	11,029,796
	実 524					

共済目的	事項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
大豆	前年度対比 (%)	102.4	96.5	101.9	108.8		
	事業計画対比 (%)	—	92.7	93.5	93.2		
秋植えばれいしょ	前年度対比 (%)	100.0	103.0	104.3	103.0		
	事業計画対比 (%)	—	98.8	99.9	98.8		
合 計	前年度対比 (%)	102.3	96.5	102.0	108.7	107.2	108.1
	事業計画対比 (%)	—	92.7	93.6	93.3	79.3	87.4

引受の概況

(大豆)

引受実戸数は、517戸（前年対比12戸増）となり、引受面積は、18,680.3a（前年対比676.5a減）となった。引受方式の選択状況は一筆方式を選択した農業者が6割強を占め、半相殺方式、全相殺方式は4割弱であった。

(秋植えばれいしょ)

引受戸数は7戸で、引受面積は118.5aとなり、引受戸数は前年同数、引受面積は前年対比で3.5a増加した。

(被 害)

項目 畑作物区分	被害組員数	共済金	共 済 金 共済金額
	人	円	%
大豆 半相殺・一筆方式	186	14,883,686	14.1
大豆 全相殺方式	5	880,086	11.8
計	191	15,763,772	13.9
秋植えばれいしょ 全相殺方式	4	213,059	11.7
計	4	213,059	11.7
合 計	195	15,976,831	13.9

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
大豆	前年度対比 (%)	94.1	82.9
	1組員当たり (円)		82,533
秋植えばれいしょ	前年度対比 (%)	200.0	407.6
	1組員当たり (円)		53,265

被害の概況

(大豆)

播種期から発芽期の7月上旬から下旬にかけての多雨で土壤水分が過剰になり、発芽不良及び根部の機能障害が発生した。また、8月中旬に継続的な降雨があったことにより着莢不良が発生した。一部山間部においてはイノシシ・シカ・サル・ウサギ等の獣害が発生した。

(秋植えばれいしょ)

9月下旬から10月下旬にかけて高温および極端な少雨で推移したことにより萌芽不良が発生し、その後の生育が遅れたことで減収となった。

(支 払)

項目 畑作物区分	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
大豆 半相殺・一筆方式	3月25日	14,883,686	3,355,093	10,581,811	946,782	0	0	100.0
大豆 全相殺方式	3月25日	880,086	491,800	319,474	68,812	0	0	100.0
計		15,763,772	3,846,893	10,901,285	1,015,594	0	0	100.0
秋植えばれいしょ 全相殺方式	3月25日	213,059	73,509	128,511	11,039	0	0	100.0
計		213,059	73,509	128,511	11,039	0	0	100.0
合計		15,976,831	3,920,402	11,029,796	1,026,633	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分 \ 項目	組合員数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
	人	棟	m ²	千円	千円	円	円	円
ガラス室 I類	29	83	13,238	125,717	98,170	122,071	76,667	198,738
ガラス室 II類	43	104	55,826	932,678	777,101	190,650	91,998	282,648
プラスチックハウス I類	16	41	6,535	38,592	31,408	80,303	54,175	134,478
プラスチックハウス II類	958	2,324	877,064	2,790,307	2,272,016	14,465,720	2,164,746	16,630,466
プラスチックハウス III類	86	146	136,902	1,027,155	804,431	2,669,195	510,111	3,179,306
プラスチックハウスIV類甲	66	101	77,023	637,120	523,793	914,320	500,226	1,414,546
プラスチックハウスIV類乙	11	20	19,649	357,652	331,749	623,252	353,760	977,012
プラスチックハウス V類	33	42	35,872	396,097	336,763	258,025	130,024	388,049
プラスチックハウス VI類	136	741	153,520	359,567	263,024	2,396,393	596,651	2,993,044
プラスチックハウス VII類	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	延 1,378	3,602	1,375,629	6,664,885	5,438,455	21,719,929	4,478,358	26,198,287

事項 \ 項目	組合員数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
前年度対比 (%)	100.2	94.1	101.5	154.2	154.0	141.9	85.4	127.5
事業計画対比 (%)		83.8			131.0	125.1	64.8	107.9

引受の概況

県下的に栽培農家の高齢化等による引受の減少はあるものの集団加入等を活用した加入推進による新規加入により、引受戸数は、1,378戸(前年対比3戸増)、引受棟数は、3,602棟(前年対比227棟減)、引受面積は、1,375,629m²(前年対比20,173m²増)となった。

(被 害)

施設区分 項目	被 害			損害の額	共 済 金						共済金
	組合員数	棟 数	附帯施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	復旧 費用	撤去 費用	施設内 農作物	合 計	共済金額
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室 I 類	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0.0
ガ ラ ス 室 II 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス II 類	41	54	1	3,612,031	2,807,149	104,766	0	0	0	2,911,915	0.1
プラスチックハウス III 類	2	2	0	115,274	92,219	0	0	0	0	92,219	0.1
プラスチックハウスⅣ類甲	3	4	0	100,408	84,974	0	0	0	0	84,974	0.1
プラスチックハウスⅣ類乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス V 類	2	2	0	66,259	66,258	0	0	0	0	66,258	0.1
プラスチックハウス VI 類	6	6	1	297,064	85,786	150,148	0	0	0	235,934	0.1
プラスチックハウス VII 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合 計	54	68	2	4,191,036	3,136,386	254,914	0	0	0	3,391,300	0.1
前年度対比 (%)	80.6	73.1	200.0	63.2	73.8	192.9	—	—	0.0	62.2	—

(被害および評価の概況)

被害棟数68棟のうち、風害による被害で62棟、その他の原因で6棟を支払いした。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
3,391,300	156,691	3,234,609	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引 受 関 係)

	加入棟数	共済金額	共済掛金			1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
			純共済掛金	賦課金	計			
	棟	千円	円	円	円	千円	円	円
農家建物	88,871	900,449,790	537,108,013	371,601,420	908,709,433	10,132	294,688,143	101,949,404
前年度対比(%)	96.9	96.7	98.4	97.3	97.9	99.8	96.8	97.4

引受の概況

引受共済金額は9,004億円で、303億円（前年度比96.9%）の減少となった。また、1戸平均は1,846万円で11万円の減少となった。

(事 故 関 係)

	事故棟数	加入総共済 金額（イ）	支払共済金（ロ）			任意保険金	被害率 $\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
			火災等	自然災害	計			
	棟	千円	円	円	円	円	%	
農家建物	392	900,449,790	241,202,878	9,303,236	250,506,114	75,736,727	0.03	
前年度対比(%)	92.7	96.7	112.8	126.1	113.3	115.1	150.0	

事故の概況

事故棟数は392棟で、前年対比92.7%と減少した。原因別の件数は、その他（落雷、水道管凍結等）による被害が全体の78.3%を占めた。支払共済金は、2億5,051万円で前年対比115.1%となった。

事故の原因別	事故棟数	加入総共済 金額（イ）	支払共済金（ロ）	任意保険金	被害率 $\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
	棟	千円	円	円	%	
火 災	35		205,912,459			
自然災害	50		9,303,236			
そ の 他	307		35,290,419			
合 計	392	900,449,790	250,506,114	75,736,727	0.03	

2. 農機具共済
(引 受 関 係)

	加入台数	共済金額	共済掛金			1 台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	計	
	台	千円	円	円	円	千円
農機具損害共済	7,797	16,614,690	60,207,051	24,737,480	84,944,531	2,131
前年度対比 (%)	100.9	103.1	105.3	103.8	104.9	102.2

引受の概況

加入台数は7,797台で、66台（前年対比100.9％）の増加となった。加入共済金額は166億円で、4.9億円（前年対比103.1％）の増加となった。

(事 故 関 係)

	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
			接触等	自然災害	計		
	台	千円	円	円	円	%	
農機具損害共済	219	16,614,690	43,544,290	253,686	43,797,976	0.26	
前年度対比 (%)	94.0	103.1	86.5	-	87.0		

事故の概況

事故台数は219台で、前年対比94.0％と減少した。原因別の件数では、接触事故が60.7％、異物の巻き込みが16.0％を占めた。支払共済金は、4,380万円で653万円（前年対比87.0％）の減少となった。

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
	台	千円	円	%	
接触	133		12,795,570		
異物の巻き込み	35		3,668,296		
衝突	13		6,433,365		
墜落	9		4,103,972		
転覆	8		7,008,458		
獣害	9		1,134,541		
火災	4		7,906,048		
その他	8		747,726		
合 計	219	16,614,690	43,797,976	0.26	

３．保管中農産物補償共済

(引 受 関 係)

	加入口数	共済金額	共済掛金			任意 保険料
			純共済掛金	賦課金	計	
	口	千円	円	円	円	円
保管中農産物	31	31,000	71,050	30,450	101,500	75,602
前年度対比（％）	516.7	516.7	441.3	441.3	441.3	441.3

引受の概況

加入口数は31口で、25口（前年対比516.7％）の増加となった。加入共済金額は3,100万円で、2,500万円（前年対比516.7％）の増加となった。

(事 故 関 係)

被害は発生していません。

（７）農機具更新共済関係

(引 受 関 係)

加入台数	共済金額	共済掛金			1台当たり 平均共済金額
		純共済掛金	賦課金	計	
台	千円	円	円	円	千円
0	0	0	0	0	0

引受の概況

引受を実施していません。

(事 故 関 係)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金			被害率 $\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
			接触等・自然災害 (ロ)	期間満了に よるもの	計		
台	台	千円	円	円	円	％	
0	0	0	0	0	0	0.00	

事故の概況

引受を実施していません。

（８）農業経営収入保険関係

（加 入 状 況）

令和３年４月～令和４年３月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体	基準収入額	保険金額	積立補てん 対象金額	加入者負担 保険料	加入者負担 積立金	加入者負担 事務費
	経営体	円	円	円	円	円	円
個人経営体	994	8,524,759,740	6,086,916,760	735,089,842	68,615,338	183,772,789	18,280,659
法人経営体	128	4,617,378,755	3,284,922,967	397,163,382	33,536,800	99,290,888	8,092,566
計	1,122	13,142,138,495	9,371,839,727	1,132,253,224	102,152,138	283,063,677	26,373,225

加入状況

前期に比べて、個人370経営体、法人28経営体の計398経営体の増加となった。１経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約857万円、法人経営体で約3,607万円であった。また、主な対象品目は、米、果樹、野菜、豆類の順となった。

（保険金等支払状況）

令和２年１月～令和２年12月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体	支 払 済 み			
		支払経営体数	保険金	特約補てん金	合計
	経営体	経営体	円	円	円
個人経営体	406	123	76,902,424	85,219,890	162,122,314
法人経営体	89	42	71,273,122	102,842,267	174,115,389
計	495	165	148,175,546	188,062,157	336,237,703

支払状況

新型コロナウイルスの影響等により補てん金の支払いが増加し、加入経営体の約33%にあたる165経営体に対して、約３億3,623万円の保険金等が支払われた。

(9) 業務関係

ア. 重要な処理事項（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和3年 4月1日	辞令交付	6月9日	家畜共済研修会（農水省）（～10日）
〃	新採用職員研修会	6月13日	令和4年度採用事務職員試験（第1次）
4月5日	第1回支所長会議・総務連絡会議	6月22日	内部監査（各家畜診療所）（～7月2日）
〃	新人職員研修（～6日）	6月24日	NOSAI協会・全国連通常総会・第1回全国組合長会議
4月6日	事業別講習会（全事業）（～26日）	6月28日	中国地区家畜共済担当者及び家畜臨床研修担当者会議
4月15日	家畜診療所長会議	6月30日	果樹共済（もも）損害評価現地研修会
4月19日	第1回理事会	〃	収入保険制度推進研修会（～7月1日）
4月20日	収入保険支所長研修	7月1日	果樹共済（もも）見回り調査（井笠・新見）
〃	人事評価研修（管理職・一般職員）（～23日）	7月4日	令和4年度採用事務職員試験（第2次）
4月22日	全国広報参事等会議	7月5日	第4回支所長会議・総務連絡会議
4月23日	第1回監事会	7月6日	果樹共済（もも）見回り調査（岡山・東備）
〃	決算監査（本所・全支所・全診療所）（～5月14日）	〃	診療技術研究発表会
〃	都道府県農業保険主管課長会議及び農業共済団体参事会議	7月7日	第1回全国参事会議・第1回西日本地区参事交流会議
4月26日	農業保険事業推進協議会総会（～30日）	7月13日	第1回初級管理職研修会
5月7日	第2回支所長会議・総務連絡会議	7月14日	令和3年度農林水産省主催農業保険外交員研修会
5月11日	中国地区組合長会議	7月19日	内部監査（各支所）（～8月24日）
〃	中国地区参事会議	7月21日	令和4年度採用事務職員試験（第3次）
5月13日	家畜診療所長会議	〃	第1回全国任意共済事業推進担当者会議
5月17日	第1回組合運営管理委員会	7月29日	園芸施設共済現地研修会
5月18日	農作物共済（麦）見回り調査（岡山・東備・津山・勝英）	8月2日	第3回理事会
5月21日	第2回理事会	〃	監事会
6月3日	第6回通常総代会	8月4日	家畜診療所長会議
6月4日	第3回支所長会議・総務連絡会議	8月5日	ぶどう損害評価現地研修会
〃	令和3年度園芸施設共済の加入推進に係る会議	8月6日	第5回支所長会議・総務連絡会議
6月8日	NOSAI協会・全国連理事会	〃	損害評価会園芸施設・任意共済部会

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和3年 8月10日	中国地区建物共済地震災害等損害評価研修会	11月4日	第8回支所長会議・総務連絡会議
〃	損害評価に関するコンプライアンス研修（～12日）	11月5日	農林水産省主催法令等研修会
8月11日	損害評価会麦共済部会（一筆・半相殺方式）	〃	家畜診療所長会議
8月19日	果樹共済（ぶどう）見回り調査（真庭・津山・勝英）	11月8日	岡山県常例検査・農林水産省要請検査（～19日）
8月24日	獣医師職員採用試験	11月10日	NOSAI協会・全国連理事会
8月25日	職員研修会・職員コンプライアンス研修・情報セキュリティ研修（～31日）	〃	損害評価会麦共済部会（災害収入共済方式）
8月27日	果樹共済（ぶどう）見回り調査（井笠・新見）	11月18日	畑作物共済（大豆）見回り調査（倉敷・井笠・津山・勝英）（～26日）
9月6日	第6回支所長会議・総務連絡会議	11月24日	第3回組合運営管理委員会
9月7日	第4回理事会	11月25日	安心の未来拡充運動全国NOSAI大会
〃	内部監査（本所）（～28日）	11月30日	家畜診療担当職員研修会（～12月2日）
9月8日	NOSAI協会・全国連臨時総会・第2回全国組合長会議	12月2日	第2回全国任意共済事業推進担当者会議
〃	全国連理事会	12月3日	畑作物共済（ばれいしょ）見回り調査（岡山）
10月5日	第7回支所長会議	12月6日	第9回支所長会議・総務連絡会議
〃	管理職員研修会	〃	建物共済専門講習会（～10日）
10月6日	第2回全国参事会議・第2回西日本地区参事交流会議	12月8日	農林水産省主催経理研修会
〃	第7回総務連絡会議	〃	中国・四国地区家畜共済地区別協議会
10月8日	令和3年度農業共済団体の運営状況に関するヒアリング（農水省）	〃	損害評価会果樹共済部会（半相殺・樹園地方式）
〃	農作物共済（水稻）見回り調査（岡山・東備）	12月9日	第6回理事会
10月13日	中間監査（本所・各支所）（～27日）	12月10日	内部監査（各家畜診療所）（～23日）
10月15日	畑作物共済（大豆）損害評価現地研修会	12月15日	損害評価会水稻共済部会（一筆・半相殺方式）
10月22日	第2回組合運営管理委員会	12月16日	損害評価会家畜共済部会
10月28日	第5回理事会	12月22日	第7回臨時総代会
〃	役員コンプライアンス研修	12月27日	NOSAI協会・全国連理事会
11月1日	令和4年度家畜共済事業計画個別協議（～11日）	〃	第4回組合運営管理委員会
11月2日	令和3年度任意共済全国研修会	令和4年 1月7日	第10回支所長会議・総務連絡会議

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和4年 1月13日	内部監査（全支所）（～3月10日）	3月23日	農林水産省主催農作物・畑作物共済加入推進等会議
1月24日	第5回組合運営管理委員会	3月24日	NOSAI協会・全国連臨時総会・第3回全国組合長会議
2月2日	第7回理事会	〃	総務連絡会議
2月4日	第11回支所長会議・総務連絡会議	〃	管理職員研修会
〃	家畜診療所長会議	3月25日	第8回臨時総代会
〃	第1回事業運営検討会（組織関係）	〃	第3回全国任意共済事業推進担当者会議
2月8日	損害評価会水稲共済部会（全相殺・地域インデックス・品質方式）	3月30日	中国地区参事会議
2月15日	全国広報委員会議・農業共済新聞全国研修集会	3月31日	辞令交付
2月16日	第3回全国参事会議		
〃	中国地区広報担当者会議（後期）		
〃	令和4年度採用職員内定式		
2月21日	家畜診療等技術全国研修集会（～22日）		
2月22日	第6回組合運営管理委員会		
2月28日	損害評価会果樹部会（災害収入共済方式）		
3月4日	NOSAI協会・全国連理事会		
〃	第12回支所長会議・総務連絡会議		
3月9日	損害評価会家畜共済部会		
〃	家畜診療所運営委員会		
3月11日	NOSAI情報化全国会議		
3月13日	総代選挙日		
3月14日	第8回理事会		
〃	損害評価会畑作物共済部会（大豆：一筆・半相殺・全相殺方式、ばれいしょ：全相殺方式）		
3月17日	令和4年度事務費賦課承認に係る事前協議		
3月22日	中国地区農作物共済担当部課長会議		
〃	第7回組合運営管理委員会		

イ．総代会

(ア) 第6回通常総代会（令和3年6月3日）

総代会日現在総代数	126人	出席率
本人出席	13人	10.32 %
代理出席	0人	
書面出席	98人	
出席者計	111人	88.10 %

重要な議事及び議決事項

第1号議案 令和2年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案（不足金処理案）の承認について

第2号議案 令和3年度事業計画、業務収支予算案及び家畜診療所収支予算案の承認について

第3号議案 令和3年度事務費賦課金の徴収額及び徴収方法について

第4号議案 特別積立金の取崩しについて

第5号議案 役員報酬額及び損害評価会委員、損害評価員並びに家畜診療所運営委員手当額について

第6号議案 定款の一部改正について

第7号議案 事業規程の一部改正について

第8号議案 令和3年度借入金の最高限度額及び借入先について

第9号議案 令和3年度余裕金預入先について

第10号議案 農作物共済（麦）危険段階別共済掛金率の設定について

第11号議案 農作物共済未収共済掛金等の損金計上について

第12号議案 損害評価会委員の選任について

第13号議案 実施体制の改善計画について

附帯決議

(イ) 第7回臨時総代会（令和3年12月22日）

総代会日現在総代数	125人	出席率
本人出席	11人	8.80 %
代理出席	0人	
書面出席	98人	
出席者計	109人	87.20 %

重要な議事及び議決事項

第1号議案 果樹共済及び畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について
附帯決議

(ウ) 第8回臨時総代会（令和4年3月25日）

総代会日現在総代数	125人	出席率
本人出席	13人	10.40 %
代理出席	0人	
書面出席	96人	
出席者計	109人	87.20 %

重要な議事及び議決事項

第1号議案 事業規程の一部改正について

第2号議案 損害評価会委員の選任について

附帯決議

ウ. 組合員の増減 (人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増減	摘要
57, 042	56, 297	△ 745	年度始組合員数は年度当初の加入者である。

エ. 役職員その他

(ア) 役職員 (人)

役員数		理事		監事		合計			
		16		3		19			
職員数	部署 性別	参事	総務部	事業部	家畜部	支所	生産獣医療支援センター 及び家畜診療所	監査室	計
	男	1	7	10	5	67	28	2	120
	女	0	8	5	1	36	17	0	67
	計	1	15	15	6	103	45	2	187

※役員は非常勤のみ
※臨時・嘱託職員を含む

(イ) 総代、損害評価会委員、損害評価員 (人)

総代	損害評価会委員	損害評価員
125	397	3, 314